

令和4年 第842回小浜市教育委員会定例会 会議録

開催日時	令和4年4月15日(金)		開会 15:35 閉会 16:25		
開催場所	市庁舎4階 401会議室				
出席委員	窪田教育長	山崎職務代理者	上田委員	村上委員	桂田委員
欠席委員					
事務局	教育部長	生涯学習 スポーツ課長	教育総務課長	古跡GL	福田GL
	出口GL	大山GL	和久田GL	安田企画主査	
傍聴者					
会 議				会議の結果	
<p><b>委員会開会</b></p> <p>(教育長) 宣言および開会あいさつ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校長会、教頭会、教務主任会での指示事項について</li> </ul> <p>教員の使命を自覚して取り組むことを指示した。教員の使命は、子どもたちの未来に責任を持つ仕事であること、そのためには、子どもたちが大人になった時の社会を描き、その社会に必要な資質・能力をどのように育てていくのかということを考えていかなければならない。現在、目の前にはたくさんの課題があるが、一つ一つ解決していく中で、どれだけ子どもたちの未来を見ながら取り組んでいけるかということが問われる。このことは私自身に課せられた課題でもあると思っている。</p> <p><b>1 会議録の承認について</b></p> <p>第841回教育委員会定例会会議録〈承認〉</p>					

## 会議録署名人2名の選任

第842回教育委員会定例会会議録署名委員選任《上田委員、桂田委員》

## 2 報 告

- ・報告第5号 諸般の報告 令和4年3月18日～令和4年4月14日  
行事予定 令和4年4月15日～令和4年5月31日《承認》

教育長 行事予定にある第843回教育委員会定例会の日程は、別の会議の日程と重複するため、別の日に開催するよう調整する。

山崎職務代理者 今年度の市PTA連合会の会長は決定しているのか。

事務局 本日開催される市PTA連合会理事会で決定すると聞いている。

## 3 議 案

- ・議案第8号 小浜市公民館運営審議会委員の委嘱について《承認》
- ・議案第9号 小浜市社会教育委員の委嘱について《承認》

教育長 3月24日に開催した社会教育委員の会の研究報告書に基づく意見交換会で、青少年の地域参加ということで、特に中学生に焦点を当てた調査研究等の報告があった。

この貴重な資料を踏まえ、今後、施策への活用を図っていくことが、我々に課された課題であると思っている。

山崎職務代理者 社会教育委員の居住地は、地区別に分かれているのか。

事務局 地区別に分かれている。

#### 4 教育長報告

- ・今年度以降の教育委員会の課題への取り組みについて

##### 教育総務課関係

- ・児童生徒一人一台端末の活用と次のステージへの推進

昨年度は、児童生徒にそれぞれ配布した端末を身近な学習機器として触れていくという定着を図ってきた1年であった。今年度はその上に立って、次のステージに進めていくことになる。児童生徒一人一台端末をはじめとしたICT機器を子どもたちが文房具として自由自在に使いこなしていくということで、学校教育の更なる充実を目指していく。昨年度に引き続き、各学校のICT主任を中心に取り組んでいき、また、管理職自身にこの取り組みを理解していただきたいことから、校長等を対象とした研修を実施していく。

- ・学校施設の長寿命化、学校の統合再編への方針

建築してかなりの年数が経っている学校施設が多いことから、学校施設の長寿命化をどのように進めていくのかという計画が重要な課題である。また、本市では、学校の統合再編を示した「4校試案」に基づき、平成31年に小浜美郷小学校を開校することになったが、次の統合再編への取り組みについて市民の皆様の関心も見受けられる。次の統合再編について、令和5年度までには方針を示せるよう目指していきたい。併せて、学校施設の長寿命化を考えていく中で、学校プールの老朽化も進んでいる現状を踏まえ、県内の学校プールの取り組みを参考に、学校プールの在り方を検討していきたいと考えている。

- ・嶺南地域教育プログラムによる教員養成

今年4月には、10名の嶺南地域卒の学生が福井大学に入学している。加えて一般入試で入学した学生のうち、将来嶺南地域で教師を目指す学生も含め、嶺南地域教育プログラムによる嶺南地域の教員養成に取り組んでいくことになる。受け皿となる嶺南6市町の取り組みも重要となる。

・生涯学習スポーツ課関係

・学校部活動から地域部活動への移行

来年度から全国展開となる学校部活動の地域部活動への移行は、昨年度から全国の各県でモデル校を指定して、実証研究を進めている。県内では、鯖江市、敦賀市、美浜町で進められている。国からは具体的な方向性はまだ示されていないが、今年2月の総合教育会議で示した本市のスケジュールに沿ってしっかりと取り組んでいく。

・公民館のコミュニティーセンター化に伴う中央公民館の在り方検討

来年度から、公民館のコミュニティーセンター化がスタートする中、中央公民館の在り方を検討していく。現在中央公民館を使用しているふれあいスクールの移設についても検討していく。

・若狭マラソン大会のコースの見直し

大手橋、西津橋の架け替え工事に伴い、マラソンコースを見直さなければならない。若狭マラソン大会のリニューアルをどのようにしていくのかということについて検討していく。

・社会教育委員の会の研究報告を踏まえた施策への反映

研究報告を施策に活かす取り組みを検討していく。

これらの課題に対して、夢と希望を大切にしながら取り組んでいきたいと考えている。

教育委員会だけでは解決できないものが多いため、関係部局や外部団体、地域との連携により取り組んでいきたい。

## 5 その他

山崎職務代理者 教科担任制について、小学校での取組みはどのようにしていくのか。

事務局 これまでは、複数学級では、教科専門の教員が学級を超えて授業に当たってきた。

人材を配置する教科担任制への取り組みは、現在検討をしているところであるが、再任用制度や定年延長制度の方針が示されたことから、教科担任の人材の確保が難しく、新たな人材を配置することには至っていない。人材が確保できれば、年度途中であっても配置していきたいと考えている。

教育長 小学校高学年を中心に教科担任制に移行していくことになると思う。

山崎職務代理者 これまでも小規模校で教頭が、授業をされていることがあり、子どもたちも喜んでいると聞いている。

上田委員 本市の新型コロナウイルスの感染状況はどうなっているのか。

事務局 学校における新型コロナウイルスの感染状況であるが、今年の1月に入り、本格的にオミクロン株が蔓延し、本市においても小中学校で広がりが出ている。1月以降で113名の児童生徒が感染している。本日も4校で学年閉鎖、学級閉鎖の措置をとっている。この傾向については、しばらく続くのではないかと懸念をしている。教育委員会としては、各学校において、感染対策の徹底を指導していく。

上田委員 感染者の症状はどうか。

事務局 症状は、全国的にも、若年層である小中学生は重症化になりにくいということで、県の公表にもあるように、10代の感染者は、無症状もしくは軽傷ということで発表されている。

山崎職務代理者 公表の方法が変更になっているのか。

事務局 県の公表の方法が変更になり、これまでは公立の小中学校は校名が公表されていたが、個人情報保護の関係から校名の公表はしないことになった。今後は、臨時休業の措置をとった学校数を公表することになり、本市も、同様の公表の方法によりお知らせすることになっている。ただし、同時に5名以上の感染者が出た場合には、県の公表の方法に従って、校名を公表することになる。

村上委員 昨年度は、学校施設の消毒業務のための学校運営支援員を配置していたが、今

年度はどうか。

事務局 昨年度は、6月補正予算に、コロナ対策のための学校運営支援員を配置する予算を追加して配置したが、現在の感染状況から、今年度も同様の予算要求をしたいと考えている。

教育長 今年3月に策定した小浜市教育振興基本計画と小浜市の教育に関する大綱を配布した。この大綱と大綱に基づくアクションプランとしての教育振興基本計画は、令和7年度までの方針と施策を示したものであるため、これまで、毎年策定してきた学校教育方針は、この計画等に基づくものとして、変更点等があった場合のみ、その都度修正を加えていきたいと考えている。

## 委員会閉会

(教育長) 宣言

この会議録が真正であることを確認して署名する。

小浜市教育委員会議事録署名委員

委員 上田俊彦 教育委員

委員 桂田理津子 教育委員